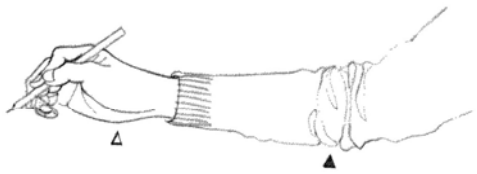
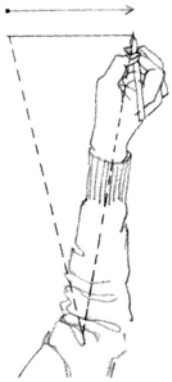
フリーハンドでエクステリア平面図を描く

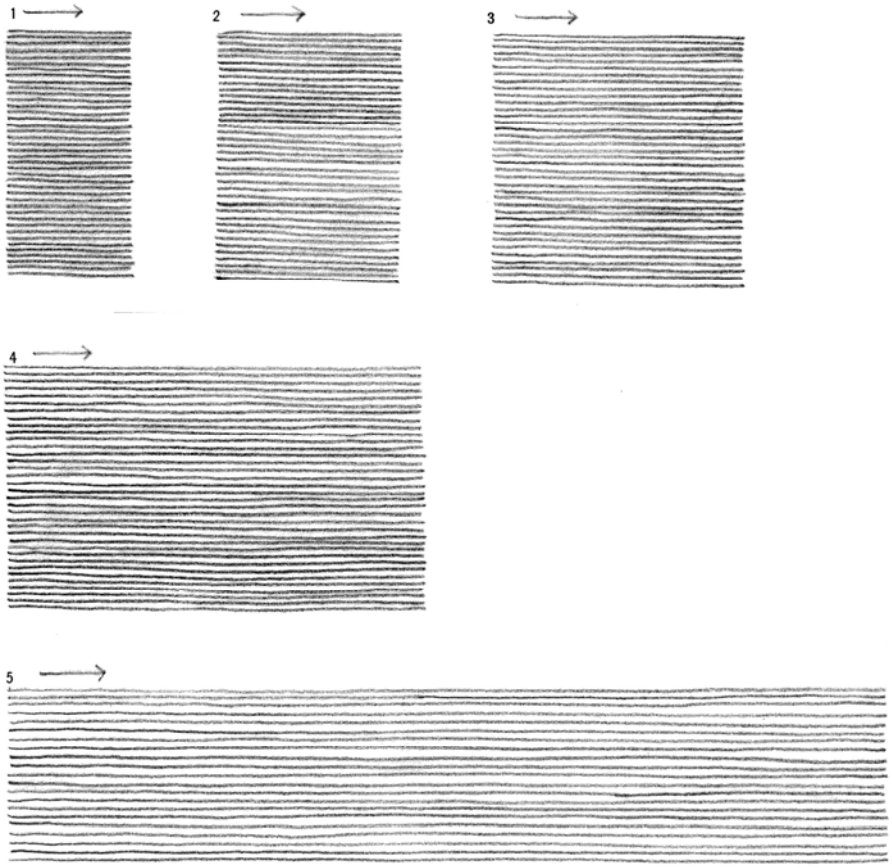
1　手の使い方



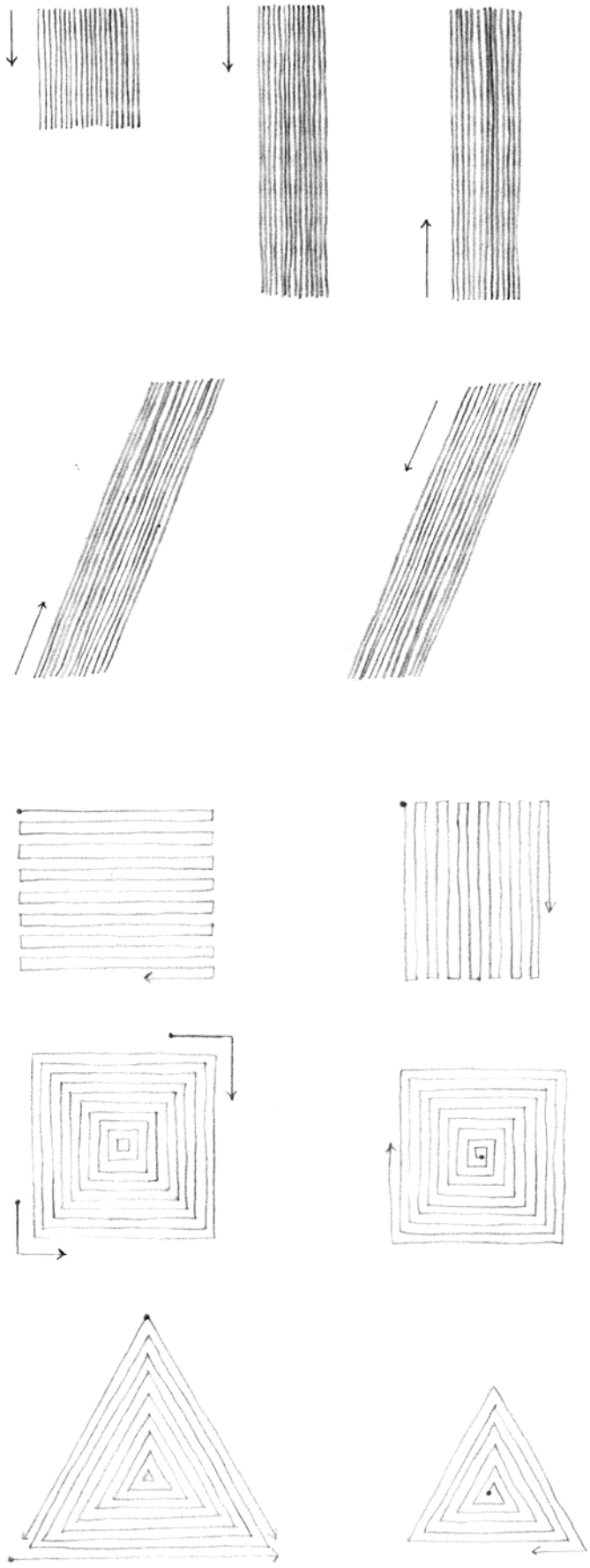


手首の可動範囲内で描ける長さの線は、△印を支点として手首だけで描き、肘は動かさない。 それ以上の長さの線は、▲印を支点として△印をわずかに浮かせ、小指を紙面に軽く当てて描く。	△印を上から見た図 手首の可動範囲内で描ける長さを描く場合の動き	▲印を上から見た図 長い線を描く場合の支点と動き

2　水平直線の練習

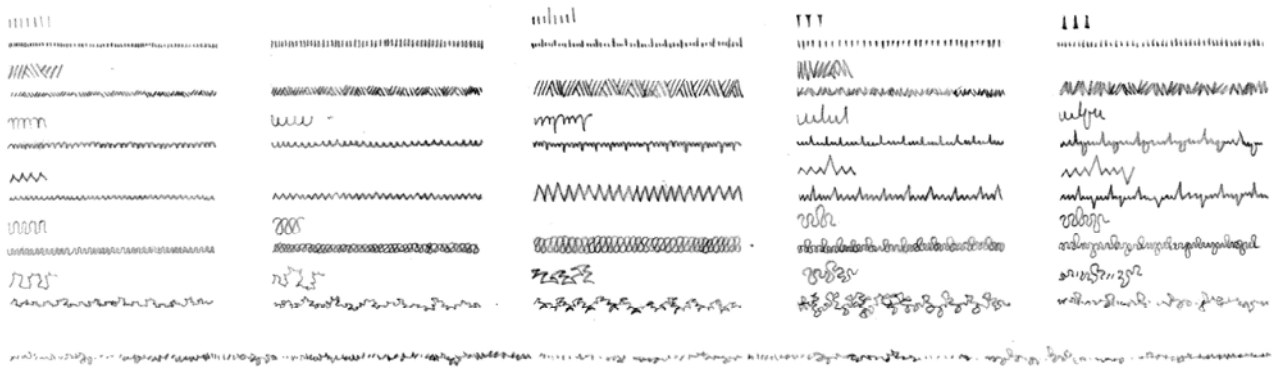


3　垂直直線・斜直線・折り返し直線・四角形・三角形の練習

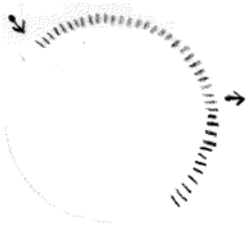


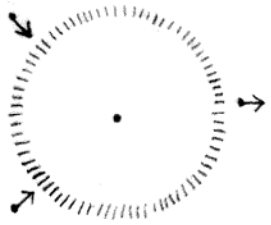
4　基本線の練習

樹木(垣根など)を描く場合は、この基本線が繰り返し使われる。手先のこまかい動きが要求される。

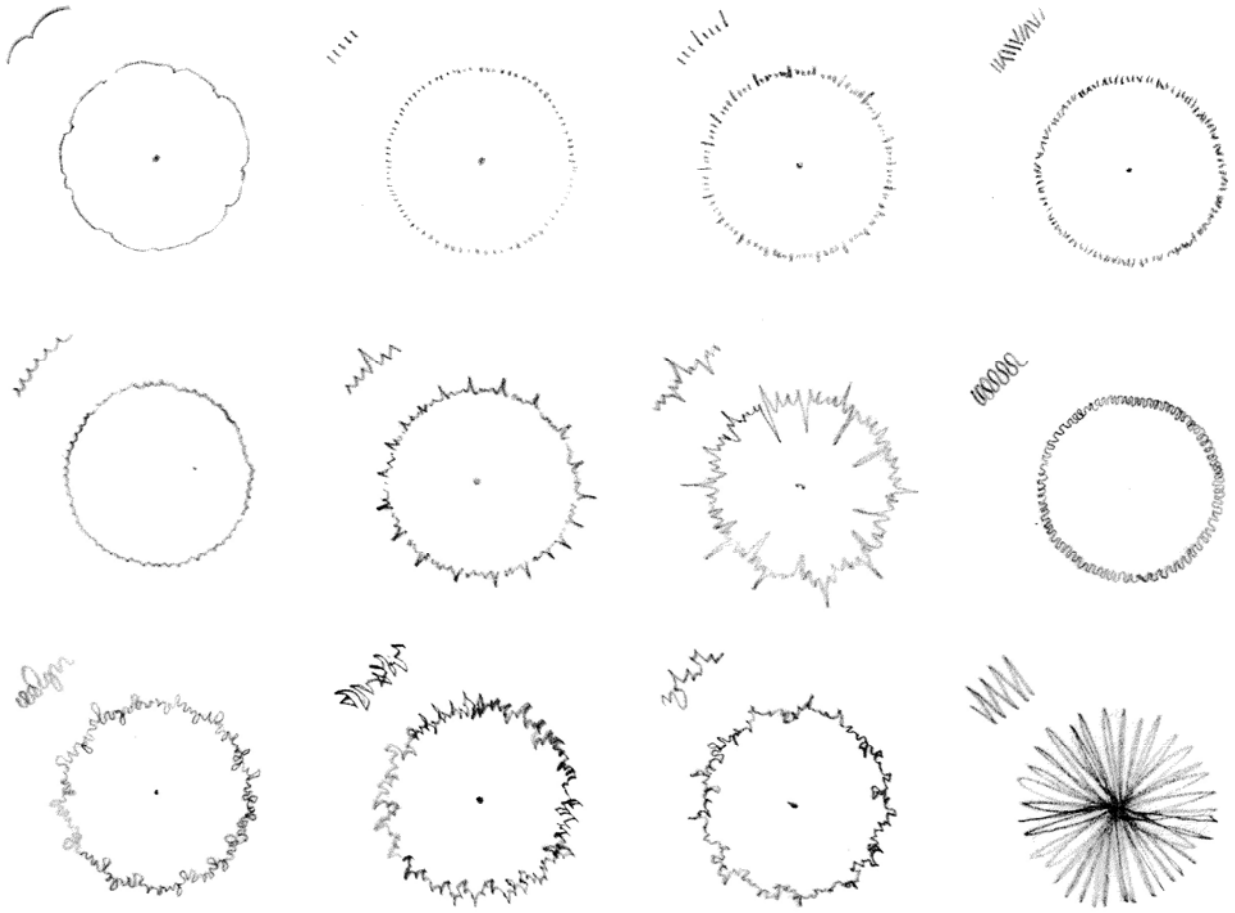


5　樹木平面記号の練習

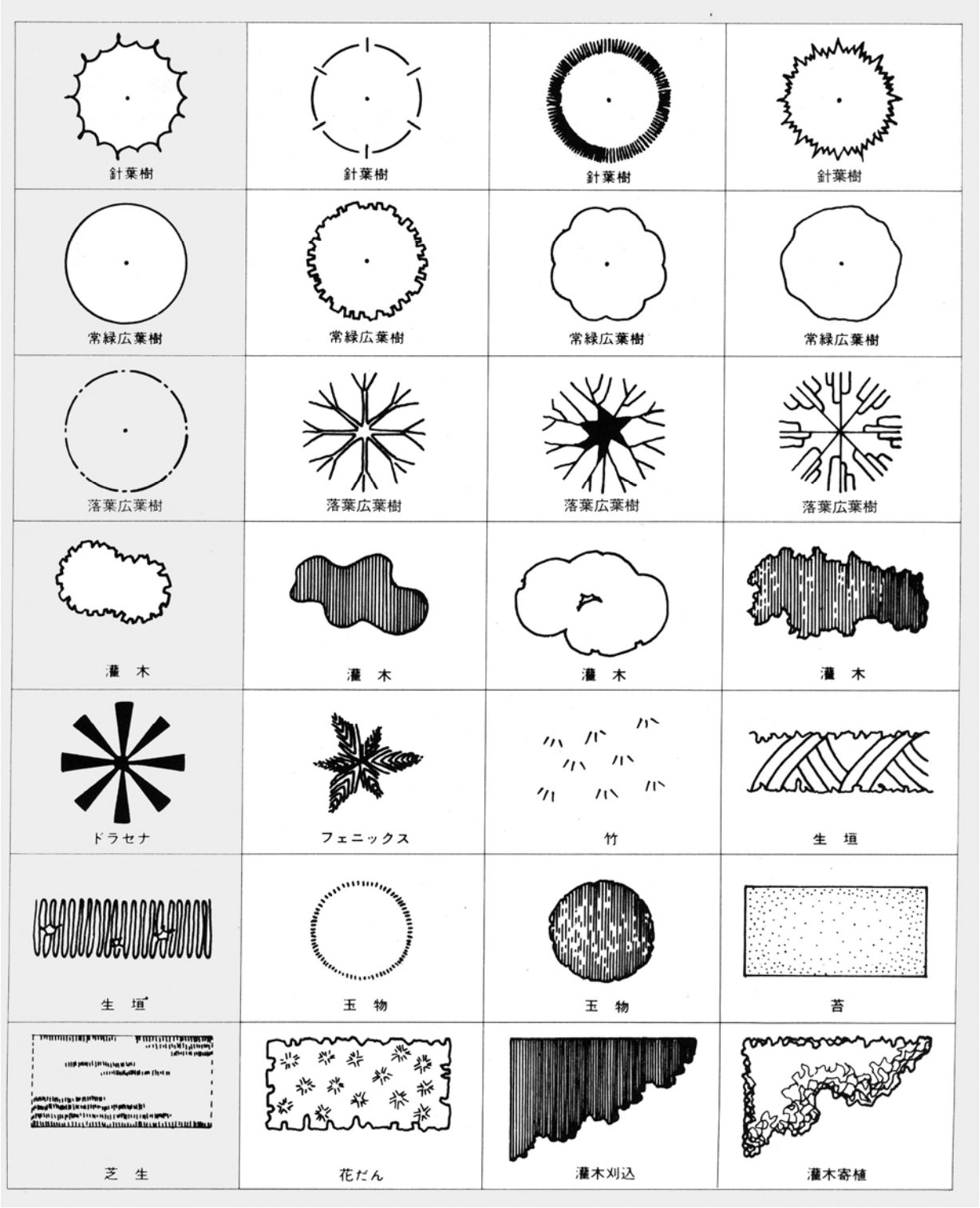




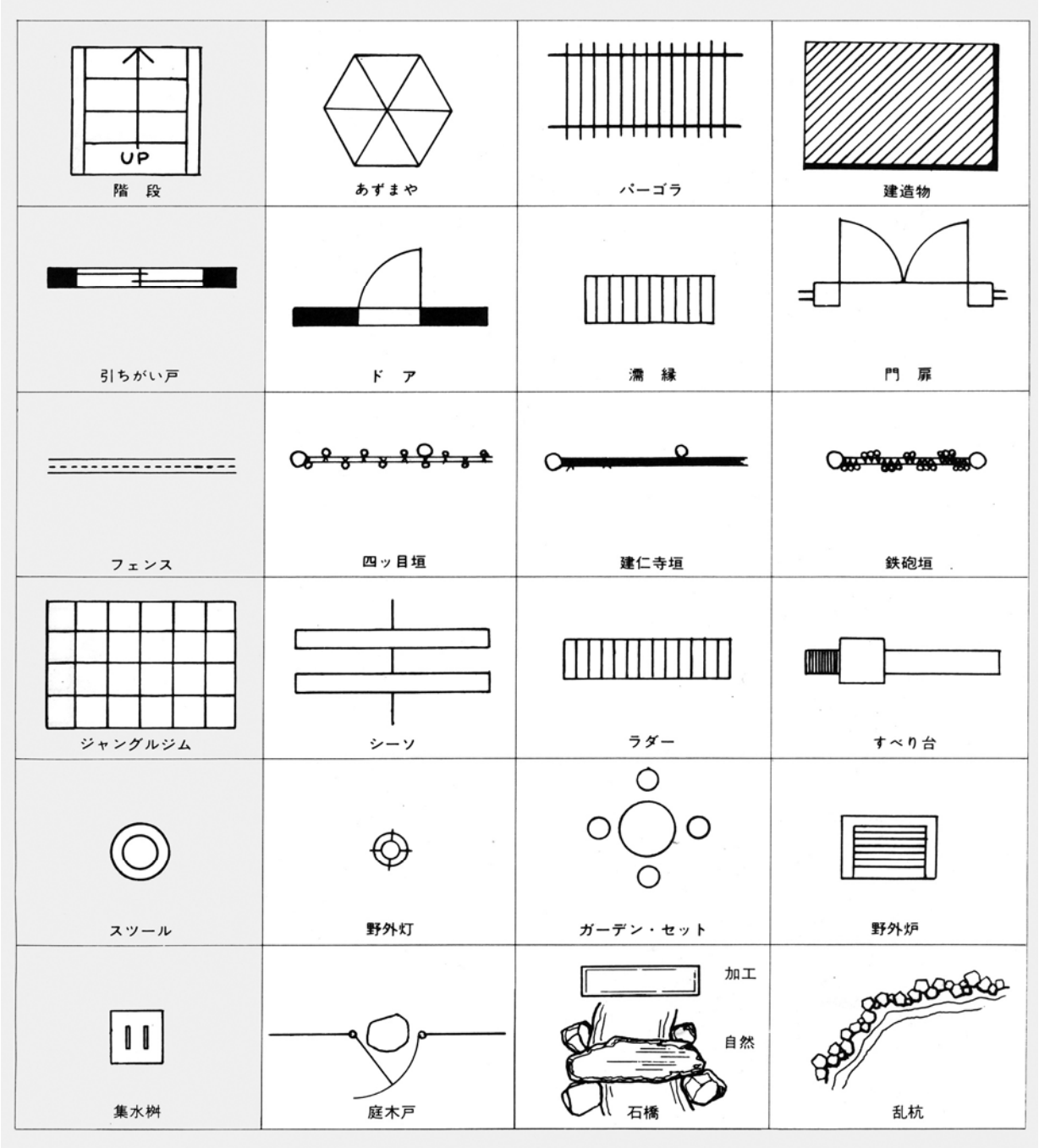
最初にうすく下線の円を描く。コンパスで描けばなお良い。	描き始めは、円上のどこからでもよいが、途中で手の方向が変わる(図中の印)ので、変わり目が目立たないよう注意する。	円全体に線を描き入れ、中心に幹を描き入れて完成。



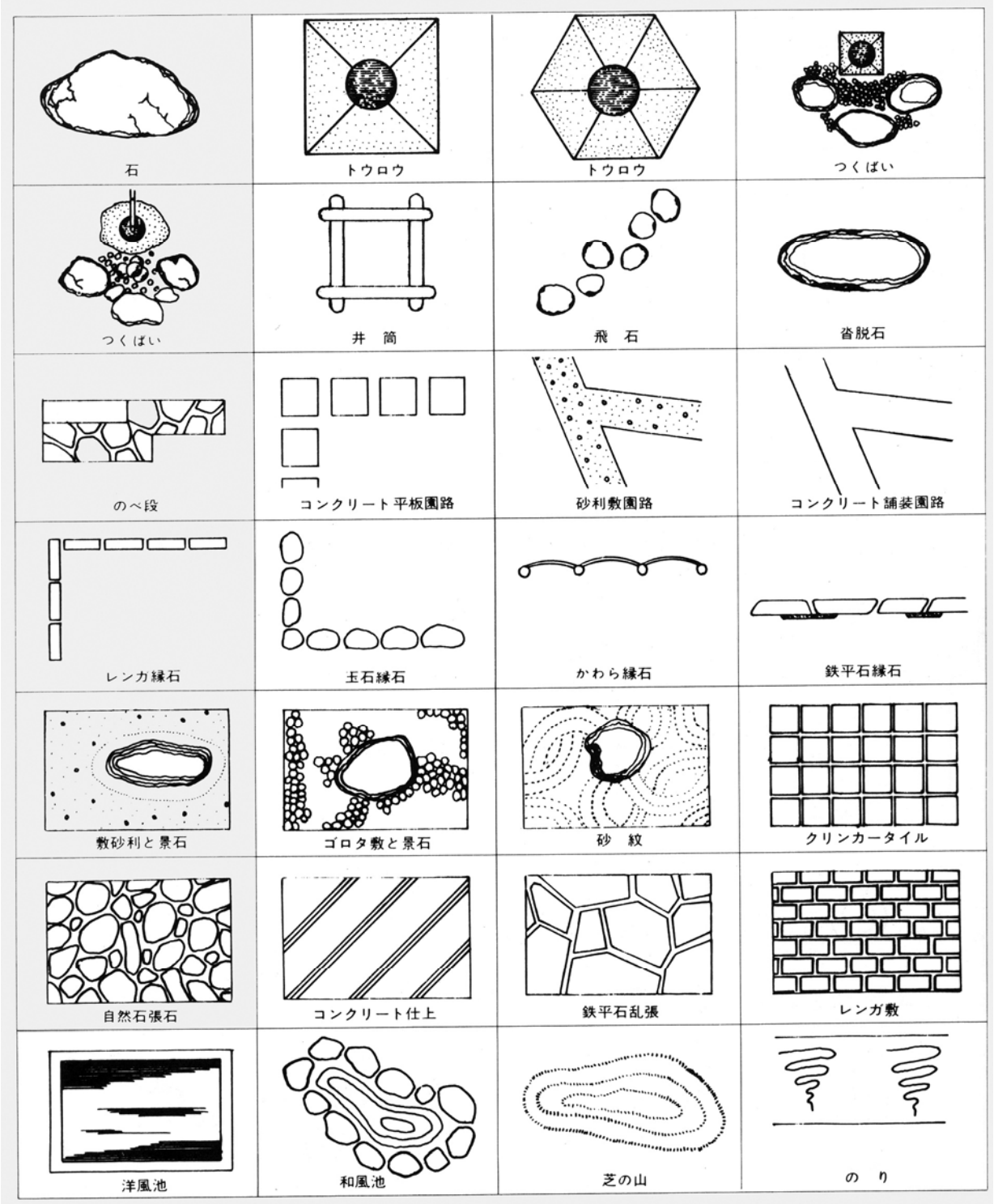
6　樹木の平面表現


針葉樹
針葉樹
針葉樹
針葉樹
常緑広葉樹
常緑広葉樹
常緑広葉樹
常緑広葉樹
落葉広葉樹
落葉広葉樹
落葉広葉樹
落葉広葉樹
灌　木
灌　木
灌　木
灌　木
ドラセナ
フェニックス
竹
生　垣
生　垣
玉　物
玉　物
苔
芝　生
花だん
灌木刈込
灌木寄植

7　主なエクステリア施設の平面表現



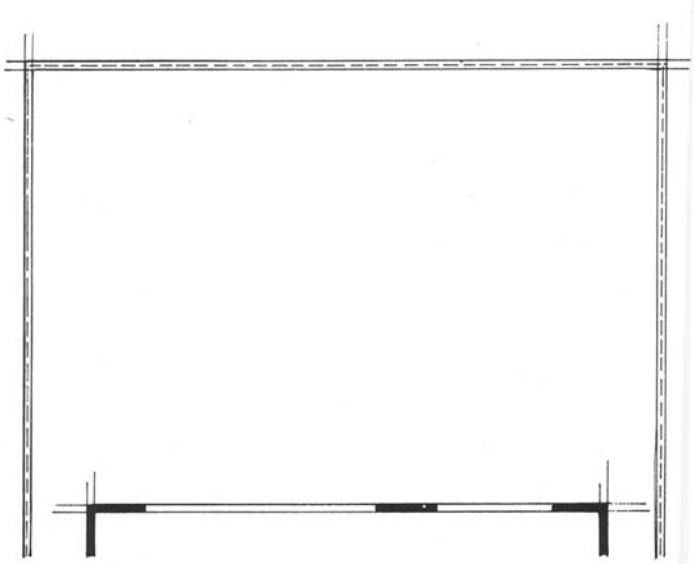
8　和風エクステリア施設の平面表現



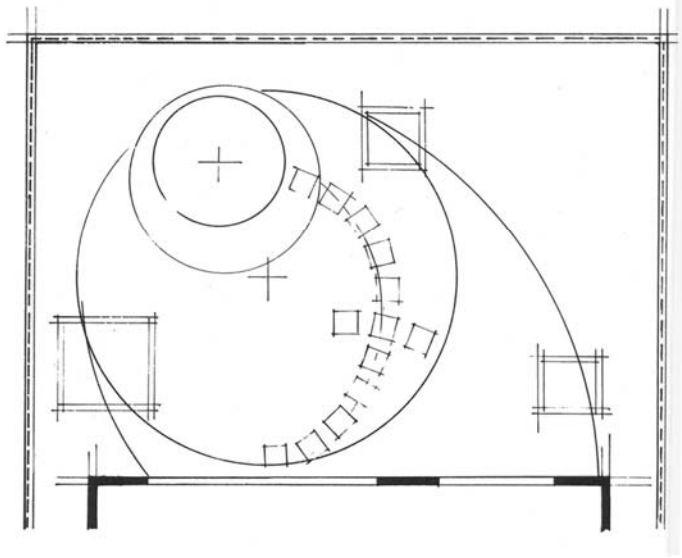
9　線のいろいろ

製図で使う線			
実線	全線	━━━━━━━━━━━━━━━━	一般には物の見える部分の外形の線
	細線	────────────────	長さ、角度、説明などの引き出し線
破線		┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈	物の見えない部分の外形の線
一点鎖線		─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─	物の切断したところの線
二点鎖線		─ · ─ · ─ · ─ · ─ · ─ · ─	物があると仮想する線

10　平面図の描き方

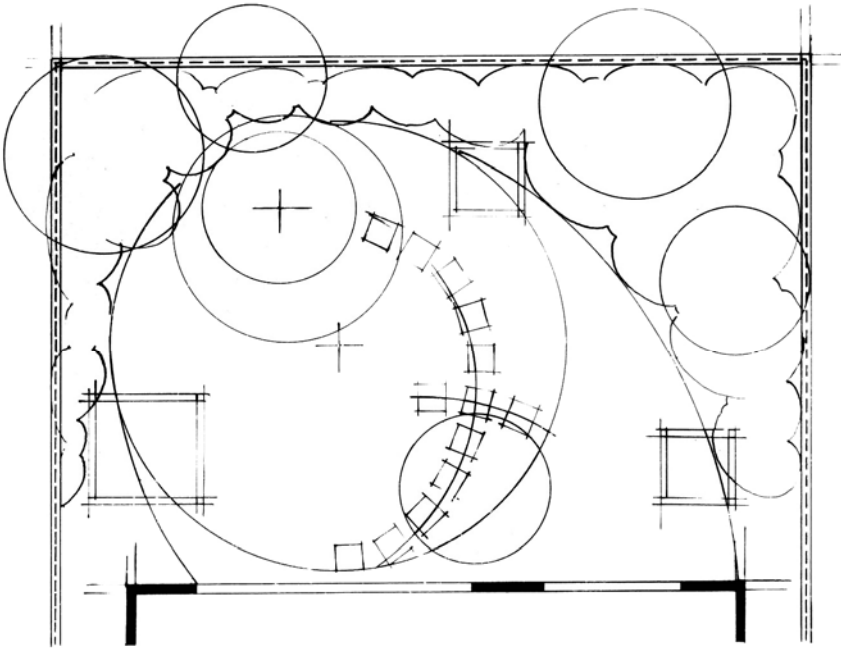


最初に敷地境界線、建造物などを描く

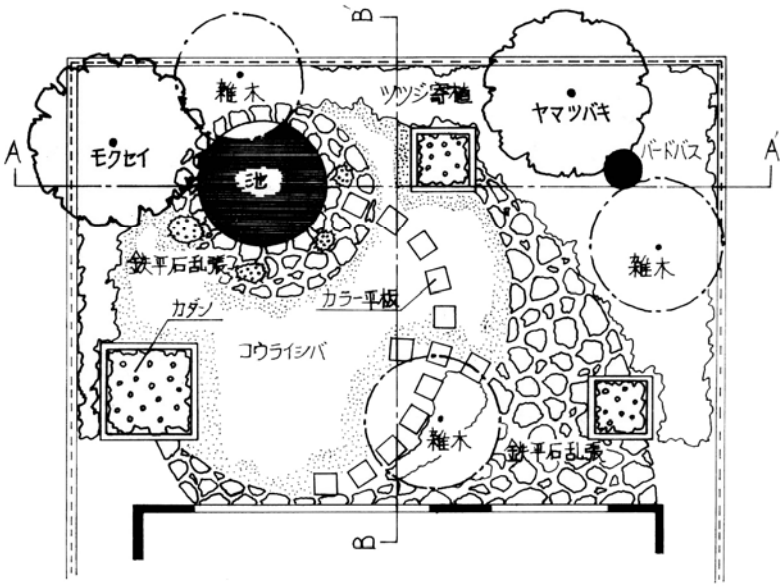


次に、庭園に造ろうとする施設工事関係のアウトラインを描く。

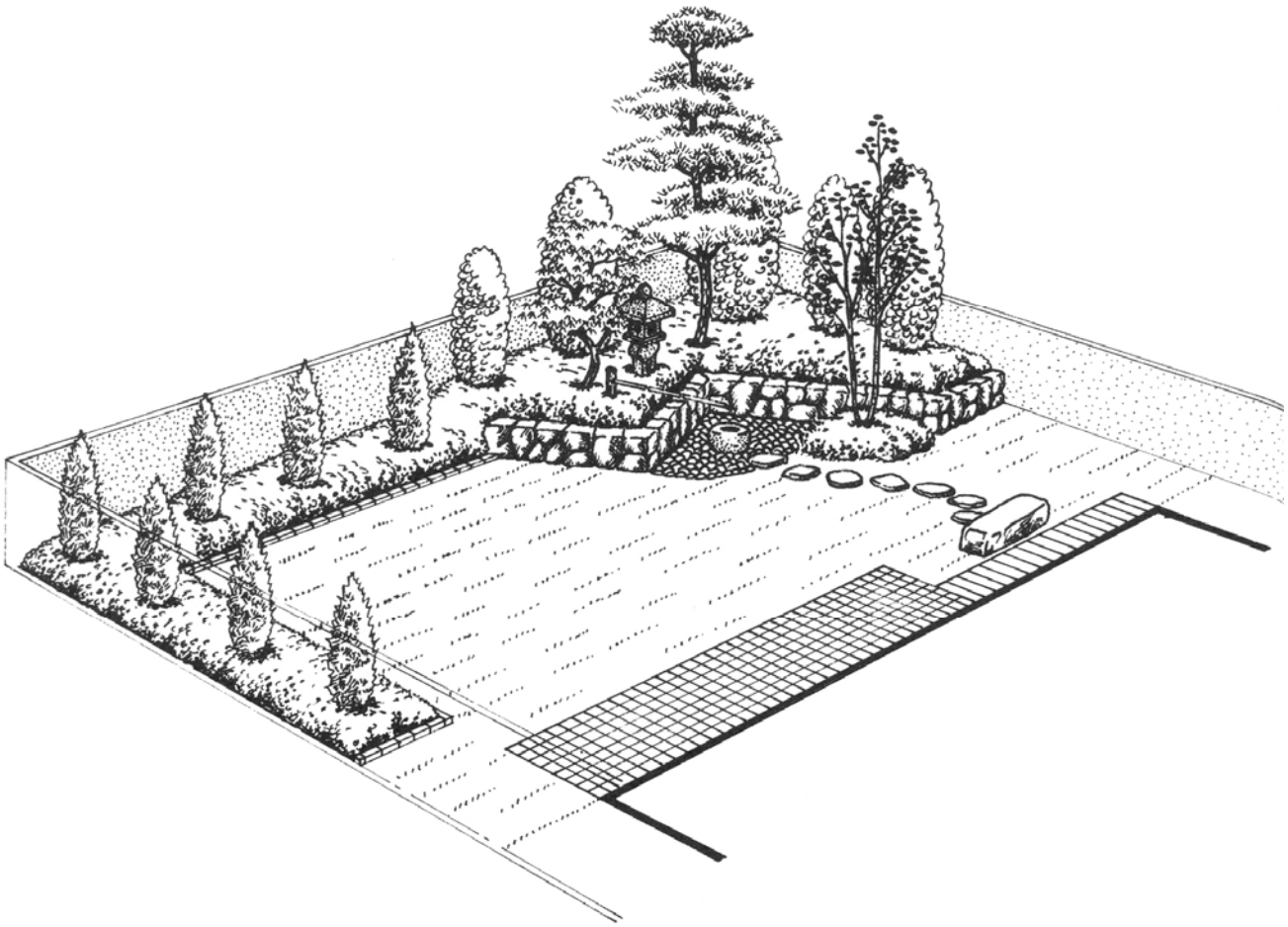
この場合は、池、テラス、花壇、園路など



施設工事関係のアウトラインを描き終わったら、植栽関係を描く。



細部を描いて仕上げる。

必要あれば、樹種名や施設の素材名などの説明書きを加える。

11　平面図の課題　　次の図を見て、下欄に平面図を描け。